

超高齢社会における“生きざま死にざま”

—医療過信 病院信仰の幻想を斬る—

一般社団法人国家ビジョン研究会では11月18日(火)超党派シンポジウムを以下の通り開催します。

- ・なぜ:医療費・介護費が増え続けるにもかかわらず、満足のゆく医療介護が行われないのか?
- ・なぜ:救急医療で患者のたらい回しが続くのか?
- ・なぜ:医師不足、看護師不足に対して有効な対策が打てないのか?
- ・なぜ:がん患者は増え続け、手術・放射線・抗ガン剤の標準治療で苦しむのか?
- ・なぜ:認知症、うつ病が増え続ける一方、有効な治療・予防法が開発されないのか?
- ・なぜ:先進諸国に比べて検査・薬漬け・長期入院が改善されないのか?

これ等の問題解決への決め手は何か、講演とパネルディスカッションで有効な対策を探ります。

日時 : **11月18日(火)** 12:30受付 午後1時~5時

プログラム

- 13:00 総合司会 野口哲英 特定非営利活動法人 IHMA 理事長
 主催者挨拶 中西真彦 (一社) 国家ビジョン研究会 代表理事
 来賓挨拶 塩崎恭久 厚生労働大臣 (予定)
 基調講演 尾崎治夫 東京都医師会副会長
 石飛幸三 世田谷区特別養護老人ホーム
 芦花ホーム常勤医師

(休憩)

14:45

パネルディスカッション

- コーディネーター 盛 宮喜 (元日経メディカル編集長)
 パネリスト 廣瀬 輝夫 (日本の医療介護改革を唱える第一人者)
 永田勝太郎 (心と身体を統合的に診れる総合医)
 佐野 潔 (家庭医育成指導者)
 太田 秀樹 (切れ目のない在宅医療とケアの実践家)
 総括 辻 哲夫 (元厚生労働事務次官/東京大学特任教授)

17:00 閉会

会場 : **衆議院第一議員会館大会議室**

(東京都千代田区永田町2-2-1) 地下鉄丸の内線「国会議事堂前」又は有楽町線「永田町」歩5分

・資料代:実費相当額(2,000円)でお分けします。(当日会場内でお支払いください。)

お名前	メールアドレス
所属先	電話番号
このシンポジウムを知ったのは?	
①紹介者名()	②国ビ研事務局のメール
③ホームページ	④その他



塩崎恭久



尾崎治夫



石飛 幸三



辻 哲夫



廣瀬 輝夫



永田勝太郎



佐野 潔



太田秀樹